

迫市長「看過できぬ」

観光船施設の許可問題で

市議会特別委員会

る状況を同室が確認した。

森井前市長の後援会関係者が関わる案件だったため、同室は森井前市長と上林猛前副市長に経過を報告。森井前市長は「(漁協など)地元関係者に迷惑がかからないよう、また、一方的にだめというのではなく、相手(観光船事業者)が納得できるよう説明する必要がある」と指示した。

アンス委員会が「許可は条例違反」と判断し、同室は18年4月に許可を取り消した。12月13日現在、事業者が用途変更などの是正措置はとられていない。

第4回定例小樽市議会は13日、予算特別委員会に入った。市が分区条例などに反し、水産関連施設以外の建築が規制される高島の漁港区に觀光船の発着施設建設などを許可した問題について、迫俊哉市長は「市港湾室が森井秀明前市長に報告した日から方向性が変わった」と述べ、前市長の意向が許可に影響した可能性があると明かした。

横田久俊氏(自民)への答弁。予特委で市が提出した觀光船問題の経緯をまとめた報告書などによると、森井前市長の後援会関係者が出資する觀光船事業者が、相手(觀光船事業者)が納得できるよう説明する必要がある」と指示した。

同室は手続きの許可を前提に法的な取り扱いを整理し、16年6月に事業者の港湾施設占有や護岸使用を許可した。ただ昨年8月、市にフックを付け係留してい

の第三機関のコンプライアブルと述べた。

(西出真一朗)